

会社案内

Company Information



送電線建設事業

電気はこうして送られ、現代社会と人々の暮らしを支えています。

私たちは送電線建設の施工管理を主事業としています。

約80年の歴史のなかで培ってきた豊富な経験、ノウハウ、技術力を活かし、携帯電話の基地局建設や情報通信工事などの事業も展開。

「電気」や「通信」というライフラインを幅広く支えています。

どの事業も社会貢献度が高く、人々の生活や命を守るために必要不可欠なものばかり。

自分が携わったものがカタチとして残り、国民の皆さんの生活を支えているというやりがいを感じられます。

ぜひ、私たちと一緒に「未来インフラ」を創る仕事をしていきませんか？

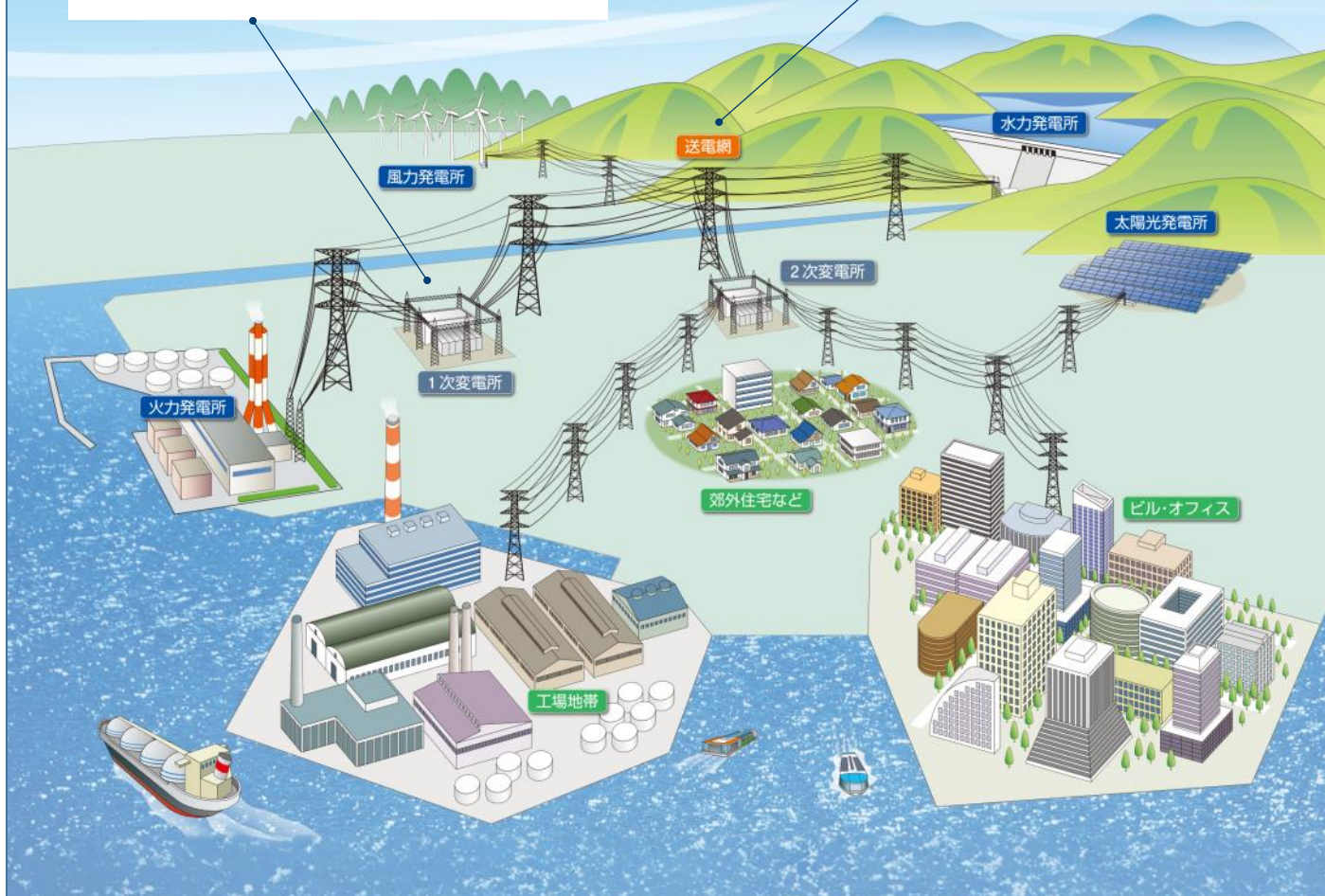
もしも電気が送られてなくなったら…。近年の数々の災害で注目されたのは、水や食料と同じように「電気」というライフラインの大切さでした。

私たち佐藤建設工業には、峻険な山岳地で、困難な海峡横断で、また高い安全性が求められる都市部で、電気を送り、守り続けてきた、約80年の歴史があります。

日本列島の隅々へ電気を送る仕事。そこには現代社会を、そして未来社会を支えるという使命感と、ダイナミックなやりがいがあります。

私たちが建設工事に関わっている送電鉄塔は、発電所でつくられた電気を各家庭に送る変電所まで電気を送る、電気の通り道です。
発電所でつくられた電気は、まず「変電所」と呼ばれるところへ送られて電圧を高くして電流を小さくし、複数の変電所を経て各家庭へと運ばれます。

日本中のすべての送電線をすべて足し合わせると、その長さはなんと約9万km。これは地球約2周分に相当する長さです。
佐藤建設はこの送電線建設に関わってきました。



送電線建設工事の流れ



チームワークで遂行する施工管理

当社社員は「施工管理」という管理監督者の立場で業務を行います。お客様から請け負った建設工事を高い品質と決められた期間内に提供し、そして何より安全に遂行することが求められます。

建設予定地の調査から携わり、その地域特有の条件を把握し、その条件に最適な工法を検討した上で工事を進める必要があります。工事を進めるにあたり綿密な計画(施工計画)を立て、より安全かつ効率的に工事を進めます。

施工計画に沿って仮設工事・基礎工事・組立工事・架線工事の順に工事を進めます。その際、悪天候など工事途中に進捗の妨げとなる事象が発生した場合には必要に応じて各種調整や計画の見直し等、状況を鑑みた判断を下し安全・品質を維持します。

管理するために必要な知識などは経験年数に応じた段階的な技術研修で身に付けることができます。送電線建設工事においては土木や電気など多種の分野の総合技術で建設されることから複数の分野の経験を積むことができ、その経験を活かした資格取得が可能です。

また、施工管理は一人ではなくチームワークで行うためコミュニケーションが重要となります。多くの人が関わり、協力して造り上げた送電線建設はそのスケール以上の達成感を味わうことができます。

施工管理

工程管理・原価管理・品質管理・安全管理

情報通信事業

未来への情報通信を支えるインフラを構築しています。

近年で最も進歩し、私たちの生活に劇的な変化をもたらしたものの。

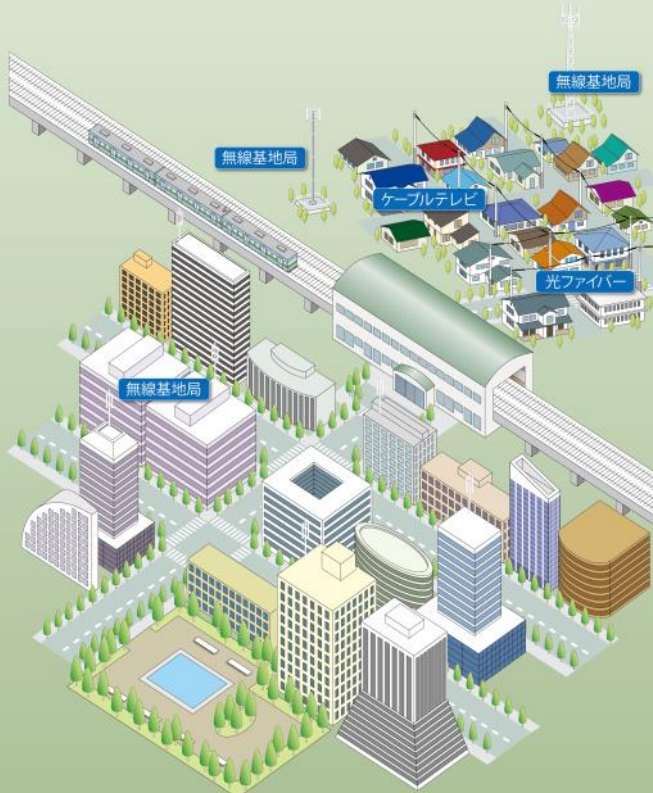
それは、情報通信技術です。

いまやPCどころかスマホで動画を見るのは当たり前。

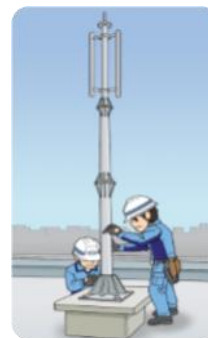
そんな時代の便利さ、楽しさを支えているのが膨大な情報を高速で処理するインフラです。

大容量、高速通信を可能にするインフラ構築には、常に最新の知見と技術が求められます。

佐藤建設工業では、光ファイバーによる有線通信から携帯基地局の無線通信まで、幅広い情報通信技術で現代と未来を支えています。



進化し続けるモバイル通信を支える



携帯電話無線基地局の建設

モバイル通信の技術環境は急激な進歩を遂げ、数年前の技術が役に立たなくなるほどダイナミックな変化を続けています。

そんな中、いまトレンドとなっているのが、電波の制御をセンターで集約する「集中型無線アクセスネットワーク」。当社では、常に最先端の技術進化に素早く対応し、モバイルの通信品質を支えています。

いまや携帯電話のない生活は想像すらできません。いつでもどこでもつながる携帯ですが、その陰には「携帯電話無線基地局」の存在があります。

佐藤建設工業では、送電線建設で培ってきた技術を活かし、携帯電話の無線基地局建設に携っています。もしも、携帯電話がつながりにくい地域があったら…そこは、私たちの活躍を待っているフィールドにほかなりません。

情報社会のすべてを支えるバックボーン

現代の情報通信の根本を支えているのが、光ファイバーによるブロードバンドネットワークです。放送局や官公庁、企業など大容量ネットワークはもちろん、家庭でのWi-Fiやモバイル通信も、その元は光ファイバー網によって支えられています。

この光ファイバー網の構築は、送電線建設で技術力を鍛え上げてきた佐藤建設工業にとって、得意分野であるといえます。送電線網とともに張りめぐらされたOPGW(光ファイバー複合架空地線)から、一般家庭へ届けるラストワンマイルまで、私たちは明日の情報通信の基板を構築しています。



光ファイバー敷設

当社なら、光ファイバー網構築の全工程をお任せいただけます。

採用情報

施工管理に興味がある方を募集しております。送電線の新設工事の他にも鉄塔の建替や電線の張替等、その規模に応じて配置されたスタッフが協力しながら業務を行います。たくさんの作業員の方々とコミュニケーションを図りながら、工事が円滑に進むよう工程・予算・品質・安全などの管理業務を行います。業界や仕事の知識は入社後にしっかり身につけられるので、文系・理系問わず歓迎します。

初任給(総合職)	大学院卒:242,000円 / 大卒:228,000円 / 短大・高専・専門卒:214,000円 / 高校卒:200,000円
昇給・賞与	昇給:年1回(4月) / 賞与:年2回(夏期・冬期)
諸手当	役職手当 / 家族手当 / 住宅手当 / 交通費 / 時間外手当 / 休日勤務手当 / 現場宿泊手当 / 現場工事手当
勤務時間	9:00~18:00 (工事現場事務所においては原則 8:00~17:00)
休日・休暇	土曜日 / 日曜日 / 祝日 / 年末年始休暇 / 有給休暇 / 慶弔休暇 / 育児休暇 / 介護休暇 / 当社休日(5月1日) / 年末年始休暇(12月29日~1月4日)
福利厚生	各種社会保険(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険) / 定期健康診断制度 / 退職金制度 / DLbenefit / 団体定期保険 / 医療保障一時金保険 / 健康第一アプリ
教育・研修	新入社員研修 / OJT / 初級技術研修 / フォローアップ研修 / 管理者研修 / コンプライアンス研修 など



企業情報

社名	佐藤建設工業株式会社
基本情報	設立 1946年(昭和21)年4月 資本金 4億4千万円 従業員 160名(2024年4月1日現在) 売上高 69億8千万円(2024年3月期)
本社所在地	〒140-0011 東京都品川区東大井5-12-10
支店・営業所	仙台 / 名古屋 / 大阪 / 広島 / 福岡 / 大分
事業内容	送電線路(架空・地中)調査 / 設計 / 建設 / 保守 / 移動体無線基地局建設 / 情報通信網の調査・設計・建設 他

〒140-0011 東京都品川区東大井5-12-10 大井朝陽ビル3階
TEL 03-5715-2520
FAX 03-5715-2527
URL <https://www.sato-k.co.jp>



主要取引先	北海道電力ネットワーク株式会社 東北電力ネットワーク株式会社 東京電力パワーグリッド株式会社 中部電力パワーグリッド株式会社 関西電力送配電株式会社 中国電力ネットワーク株式会社 四国電力送配電株式会社 九州電力送配電株式会社 沖縄電力株式会社 電源開発送変電ネットワーク株式会社 KDDI株式会社 KDDIエンジニアリング株式会社 ソフトバンク株式会社 楽天モバイル株式会社 株式会社エネコム 東邦電気工業株式会社 日本コムシス株式会社 その他
-------	--